



洛友会会報 情報産業

東京支部長 萱島興三(昭30年卒)

洛友会会報

京都大学工学部電気系教室内
洛友会
京都市左京区田中大堰町49
075-701-3164

私が大学を卒業し、日立製作所に入社した頃は、デジタル電子計算機の研究開発が米国・欧州で活発に行われていました。固体物理の進歩によって、一九四八年にトランジスタが発明され、ゲルマニウムからシリコンに替り、集積回路(IC)へと進歩するのに10年あまりもかかりていません。この50年間におけるエレクトロニクスの技術の進歩と産業の発展はまさにめざましいものがあり、世

界の経済・社会発展の原動力となつてきました。

私は日立に入社して間もなくコンピュータ開発に携わり、電算機オンラインシステム、パソコン、インターネットなど次々と新しい技術が生まれ、社会のニーズをみたとともに、また新しい技術を生み出して行くのを目のあたりにしてきました。

現代は情報化社会といわれ、コンピュータや通信の技術進歩によって50年前に比べるとはるかに早いスピードで世界が動いています。ここでもっとも重要な役割を果して来たのが、エレクトロニクスであります。この中でもっとも重要な役割を果しているコンピュータは、ハードウェアとソフトウェアからできています。コンピュータ発達

したが、ここでは、精密な回転と記憶する技術として発展してきましたが、ここでは、精密な回転と位置決めの機械工学技術が、エレクトロニクスと併用されています。

ソフトウェアは、初期のコンピュータにおけるアセンブリ、コンパイラから現在のパソコンにおけるマルチウインドウシステム、ネットワークOSなど、極めて複雑なシステムへと発展してきました。

ソフトウェアの特徴は、階層化によって一層便利で複雑なものに進化して行くことにあると思います。

ソフトウェアを収納するパソコンの主メモリ(DRAM)や、ファイルを収納するハードディスクの性能・容量は年率150%の改善がここに分かれています。

自然科学の進歩によって、人類にとって多くの問題が解決されてきました。もつとも複雑な存在である生物体の基本的な構造についての解明が進んでいます。今世纪の半ばに、遺伝子が、四種の塩基(A・G・C・T)から構成されるデオキシリボ核酸(DNA)によってコード化されていることが見出されました。生命体の設計図が、四進法でコード化してできていること、ダーウィン以来の遺伝、進化の謎の基本部分が解明されました。

DNAの塩基配列をきめる装置をDNAシーケンサと呼んでいます。化学会によって処理

の歴史の中でも、いろいろの技術開発がなされました。その後殆どシリコンウェハ上に構築される集積回路が、今後とも当分の間主流でありつづけると考えられます。

磁気記録は、大容量のファイルを記憶する技術として発展してきましたが、ここでは、精密な回転と位置決めの機械工学技術が、エレクトロニクスと併用されています。

ソフтверアは、初期のコンピュータにおけるアセンブリ、コンパイラから現在のパソコンにおけるマルチウインドウシステム、ネットワークOSなど、極めて複雑なシステムへと発展してきました。

ソフトウェアの特徴は、階層化によって一層便利で複雑なものに進化して行くことにあると思います。

ソフトウェアを収納するパソコンの主メモリ(DRAM)や、ファイルを収納するハードディスクの性能・容量は年率150%の改善がここに分かれています。

自然科学の進歩によって、人類にとって多くの問題が解決されてきました。もつとも複雑な存在である生物体の基本的な構造についての解明が進んでいます。今世纪の半ばに、遺伝子が、四種の塩基(A・G・C・T)から構成されるデオキシリボ核酸(DNA)によってコード化されていることが見出されました。生命体の設計図が、四進法でコード化してできていること、ダーウィン以来の遺伝、進化の謎の基本部分が解明されました。

これがサンプルを電気泳動させ、オプトエレクトロニクスによってデータを取り出し、コンピュータで処理します。21世紀は、バイオテクノロジーの時代と云われていますが、この一連の技術開発は緒についたばかりです。

私は、12年前から日立の関連会社日立電子エンジニアリングに移り、半導体・コンピュータの製造・検査装置の開発・生産に携わっています。もうしばらく企業の第一線で社会の進歩・発展のために努力したいと念願しています。

日本の経済・社会は成熟し、老龄化が進んで将来の発展が心配されています。今後一層グローバル化する中で、若い洛友会会員の皆様が、各分野で活躍されることを祈念しております。

洛友会会報

コンピュータ発展の歴史において、ごく初期に欧洲が重要な役割を果しましたが、その後殆どシリコンウェハが、主導役割を果たせなかつたことは残念であります。パラダイムとは、その時代をリードする支配的な考え方、物の見方を意味し、例えば現在のパソコンでは当然のこととなつてあるマルチウインドウとかインターネット接続などは、米国の若い学者や企業によって生み出され、成功したことによく知られています。規制のない自由の風土と、活発な起業家精神が、グローバル化した社会の発展の原動力となっています。

自然科学の進歩によって、人類にとって多くの問題が解決されてきました。もつとも複雑な存在である生物体の基本的な構造についての解明が進んでいます。今世纪の半ばに、遺伝子が、四種の塩基(A・G・C・T)から構成されるデオキシリボ核酸(DNA)によってコード化されていることが見出されました。生命体の設計図が、四進法でコード化してできていること、ダーウィン以来の遺伝、進化の謎の基本部分が解明されました。

これがサンプルを電気泳動させ、オプトエレクトロニクスによってデータを取り出し、コンピュータで処理します。21世紀は、バイオテクノロジーの時代と云われていますが、この一連の技術開発は緒についたばかりです。

私は、12年前から日立の関連会社日立電子エンジニアリングに移り、半導体・コンピュータの製造・検査装置の開発・生産に携わっています。もうしばらく企業の第一線で社会の進歩・発展のために努力したいと念願しています。

日本の経済・社会は成熟し、老龄化が進んで将来の発展が心配されています。今後一層グローバル化する中で、若い洛友会会員の皆様が、各分野で活躍されることを祈念しております。

洛友会会報

洛友会会報

京都大学工学部電気工学科 創設100周年記念事業について

洛友会会长 大谷泰之

平成10年に母校電気工学科創設100周年を迎えることにより、このことを記念する行事並びに事業を行うこと、またこのために会員各位にご寄付のご協力をお願いすることにつきましては、昨年5月の洛友会総会でご承認を得、洛友会報176号(7月15日号)でご報告致しました通りですが、京都大学100周年事業の募金活動が平行して行われておりましたこともあり、会員各位へのご依頼を少し遅らせてまいりました。

一九九七年度にはいり、電気工学科創設100周年がいよいよ一年先にお願いをすることになり、本洛友会報に同封して募金趣意書をお送りさせて頂いております。

なお、以前から本洛友会を法人化したいという希望がありました。が、この100周年を機会に是非これもご寄付をお願いして基金を作り社団法人化に向けて努力を始めることと致しました。

国内産業の景気動向が芳しくない状況が続いている時期に恐縮ですが、前記の趣旨をご理解の上、是非ご協力・ご支援を頂きます様お願い致します。

なお、本記念事業の事務局は、財団法人「近畿地方発明センター」内「洛友会京都大学電気100周年記念事業事務局(TEL 075-751-5777)に設置しますが、従来からの洛友会の事務はこれ迄と同様財团法人「応用科学研究所」(TEL 075-701-3164)で行っています。

(昭13年卒)

電気工学科創設100周年

記念事業について(写真募集)

松波弘之(昭37年卒)

京都市左京区吉田本町
100周年記念誌出版委員会

西606-101



すでに、昨年度から案内されていますように、電気工学科創設100周年記念事業の一環としまして「100周年記念誌(仮)」の出版を計画しております。内容は、現在の京都大学電気系教室の活動状況、電気・電子工学の歴史と京都大学の関わり、電気・電子工学の進展予測などを包含する予定であります(300~400ページ)。その中で約一割程度(30~50ページ)を写真で飾つまでは、会員の皆様の在学

が責任を持ちまして返却させていただきます。なお、採録、編集等は実行委員会にお任せ下さいます。

送り先

西606-101

日ごとに春の訪れを感じる頃となりました。洛友会会員の皆様には、益々ご清祥の御事とお慶び申上げます。

私儀、本年3月31日付をもちま

して、京都大学を停年退官することになりました。私ごとき者が永年にわたって電気工学教室に奉職できましたのも、一重に洛友会員の皆様のご支援のおかげと、深く感謝致しております。

顧みますと、昭和31年3月に電気工学教室を卒業以来41年間、電気工学教室でお世話を参りました。大学院修士課程を修了後

博士課程に進学し、昭和37年4月京都大学工学部助手、同38年12月講師、同41年12月助教授を経て、同57年5月教授に昇任し、一般電

中(研究活動、授業あるいは教室関連の行事など)の一こま、その後のお仕事の中でも、電気・電子工学の発展に関連あると思われます

写真を拝借できればこの上もありません。

ご多忙の中、暫し昔を振り返つていただき、アルバムなどから抽出していただきまして、下記宛にご送付下さいますようお願いいたしました。写真にはそれにまつわる説明文をお付け下さい。



安陪 稔

た。平成7年の改組により、大学院工学研究科電気工学専攻電力工学講座電力変換制御工学分野を担任させて頂いて現在に至っております。

この間、電子管式アナログ計算機の設計・製作と非線形問題への

アナログシミュレーション、オペアンプを応用した種々の非線形電気・電子回路、抵抗溶接部の熱伝導系のシミュレータ、電気自動車用高効率直流複巻電動機、半導体スイッチング素子を用いた誘導

光灯を指標とした移動ロボットの自律走行制御など、幅広い分野で楽しく研究生活を送らせて頂きました。

停年を迎えるに当たり、お世話になりました諸先生方ははじめ洛友会の皆様に心より御礼申し上げ、ご挨拶致します。

なお、4月からは福山大学でお世話をになる予定です。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

(昭和31年卒)



隨想—停年退官によせて

小倉久直



自分の研究生活を振り返ることに致しました。やはり自分のことですから幾らでも思い出すことは出来はしますが、ばらばらの研究歴をまとまつた話として聴いていただくとなると、大変なことと思われました。

そこで、私の過去の研究分野を「レーザー、レーザー共振器」、「ホログラフィック・イメージングレーダー・ソナー」、「統計的信号処理・画像処理」、「ランダム系における波動伝搬・散乱問題」、「確率過程・確率場・応用数字」の5つにわけてノートを書いてみましたが、時間の制限もあって話下手の私にはやはり難しそうに思えましたので、以前に洛友会報や工学部報などに書きました随想などを一緒にコピーして当日聴いて下さった方にお渡し致しました。

私は停年退官の年には伝送メディア工学大講座の光メディア工学分野を担当していましたが、本来この研究室は、加藤信義先生、池上淳一先生と続いた電子工学教室の高周波工学講座を私が昭和63年に引き継いだものです。加藤先生に応じて研究テーマも多様になりましたから、周囲の状況や自分の好みに応じて研究テーマも多様になりました。ただ、私の場合は、富士通所が移り、周囲の状況や自分の好みに応じて研究テーマも多様になりました。お話を聞いていた様なまつたお話を出ないと思っておりました。お世話を下さる先生にこれは停年退官のセレモニーだからと言われまして、お話を中止するために

告申し上げます。

本年度の卒業生は別表にありますように、学部155名、大学院修士課程99名でした。この表は留学生も含んだ数値ですが、学部の留学生(14名)は含んでおりません。卒業生のうち学部からは、本学の工学研究科電気系専攻修士課程への進学が90名、本学の他研究科あるいは他専攻修士課程への進学が14名、他大学修士課程への進学が7名、就職が42名でした。また、修士課程からは、本学の電気系専攻博士課程への進学が12名、本学他研究科博士課程への進学が2名、就職が84名でした。

昨年度は業界の全般的な不況に加え、阪神大震災の影響もありました。が、平成8年度は景気の回復基調を反映して、求人件数も平均的に増加しました。有難いことです

が、電気系教室への求人総数は就職希望学生の二~三倍位になるかと思います。相変わらず電気電子関連の業種への就職が大多数を占め、そのため他の業種へ進む学生が少ないという状況が続いております。

毎年のことではありますが、学生の就職につきまして、洛友会員諸兄にはいろいろとご高配、ご援助をいただきました。教室の学科長、専攻長として厚く御礼申し上げますとともに、今後ともよろし

平成9年度洛友会 総会通知

くご支援のほど、お願い申し上げます。

き方に、心酔している。私が俳句を作り始めたのも、昭和八年のことで、はからずも、本多さんとの御縁と同年となることになる。

今般先づ、さくらを詠んだ私の句を御紹介して、何かの御参考になればと考えて見た。

花吹雪をしているのが見える。花吹雪地吹雪となり来りけり地面に散り積つた落花が、風に舞い上つて、再び吹雪く。そんな

有様になつて来た。

一家族しだれざくらの金の下吹く風と遊べるしだれ桜かな風と舞うしだれ桜の花の裾

自宅の庭に私が植えた、しだれ桜の一本の苗木。それがもう三十年経つて美しい女盛りとなり、楽しませて呉れる。時には、私共夫婦と、長男夫婦も加わって、その下で写真を、とつたりする。

満開の桜の大樹、一陣の風が吹いて来ると、先づ枝という枝から、花が離れて落花となり、湧き上つて、枝や幹を隠してしまって見ゆるや、次の瞬間、それが大きく吹き飛んで、一面の花吹雪となつて走り去つてゆく。何もかも忘れてしばらく茫然と見とれてしまう、花吹雪の美しさ。

垣の外には、借景として嵐山が見えている。一陣の風が吹き、花吹雪となり、嵐山が消えてしまつた。

ひたと閉づ門の内外の花吹雪

屋敷の門が、ぴたりと閉ざされ

会員寄稿

私の俳句

川端太郎(昭和8年卒)

能を舞う白寿のあるじ花の宴
乱れ打つ太鼓に落花また落花

毎年四月に本多静雄氏邸(洛友会中部支部前支部長)で、開かれ

る花見の会の際の小生の句である。

本多さん自身が書き卸された狂言

台本に従つて、一流狂言師が演ずる舞台。その前に、本多夫妻が立

ち、庭一杯埋めている客席に向つて、挨拶されるのが恒例である。

白寿とは、百から一を引いた九十才の本多さんのこと。能舞の上での、本多さん御夫妻の姿は、そのまま絵になつてゐる。しゃんと決つている。乱れ打ちの太鼓は、近在の青年等で、結成されている太鼓を並べて、打ちまくる威勢の良い景色である。私は本多さんと同様、「いぬ」年生であるが、十二才年下である。昭和八年に大学を卒業して、名古屋の電力会社に就職した時、洛友会の歓迎会をし延々六十年、本多さんの豪放な生

以上三句は自宅以外の句

しだれ桜賞づ

一、会費

会員 5000円
同伴者 2000円

ただし平成8年3月卒業生以降無料

受付

東京支部 14..00
評議員会 30..15..
東京支部総会 30..20..
本部総会 16..40..17..
懇親会 15..30..16..
TEL 03-3443-3111
山手線目黒駅下車

一、行事

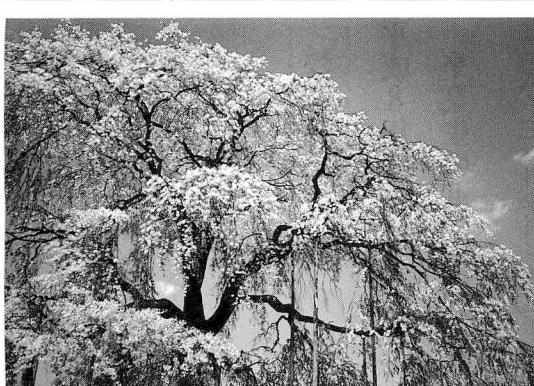
1、場所 東京目黒八芳園
平成9年5月31日(土)

2、年月日

2、出席者

5月19日までにご連絡をお願いいたします。

本会へはご家族同伴を歓迎しますので、多数お誘い合せの上ご出席下さい。



なお、これで総会出席通知に代えますので、ご出席の方は5月19日までにご連絡をお願いいたします。
本会へはご家族同伴を歓迎しますので、多数お誘い合せの上ご出席下さい。

山を見る吹き上げて来る

落花を浴び

眼前的山なみを眺めている。足下の渓から、吹き上げて来る風が、渓に咲く花を散らして吹き上げ、それが作者の全身へ吹きつけて、来る。

逃げたがる飛花ひつ捉え潦

潦。（にわたすみ）と読む。水たまりの意味。落花が風に吹かれて、飛んで来る。潦に来ると、水につかって濡れて水面に浮ぶ。飛花はもう逃げられない。

川流れ花筏また花筏

落花が帯のように連つて、川面を流れ下るのを、花筏と呼び習わしている。長い帯を曳いて、流れに乗つてゆく落花を見ていると、いつまでも飽かない。美しい川面筏の景色である。

渦捲いて川遡る花筏
川の流れが大きく渦巻いているところ。それに浮ぶ花筏も渦巻いて、川を遡るところがある。ゆつくりと動く大きな渦。

堰落ちて落花の旅のなほ速し

川に浮んで河口まで、海まで流れゆくのかも。花が散る向ふにも散る花が見えていると、遠くの方でも、散つているのが見える。あちらでも、こ

ちらでも、落花がはじまっていると思つて、眺めている。

花が散る明日といふ日

今日散らなければ、もう明日は無い、と思つてゐる如く散り急ぐ

花

ころげ来て釣橋渡る落花かな
落花追ふひらひらひらと

わが視線

散り刻が来て散りしきる遲桜

恍惚と花の影浴び落花浴び
見らるるこぼるる花の心かな
一片だけの、花びらに注目した

句としては、

花一片しばし花の間ただよへり
一片も散らずそよがず朝桜

恆え散る涙の如く花一片

先づ咲きはじめる一花を、初花

として、俳句では、殊に賞づる。

初花のこの世の風をまだ知らず
初花にざんざん降りと

なりにけり

はち切れし初花色をこぼし初め
そこにだけ朝の日の射す

初ざくら

郊に入る一步に仰ぐ初ざくら
再びの花にも出遇ひ旅二人

妻と山陰旅行、松江城で二度目

の花見となつた。

安産の礼参りらし余花の宮

散り残つてゐる花は残花、遅くなつてから咲いてゐるのが余花と、

俳句では区別している。塩釜神社

風景。以上で花の句は、終ることとする。何れも最近二、三年間の、

作句である。単に桜と云つても色

に眺め、感じで歌つてゐるもの

本省人と外省人

松橋達良（昭和17年卒）

昭和20年10月17日、台湾の基隆の港は多くの島人で賑わっていた。その日は、陳儀將軍率いる急造の国民党の第70軍が本土から、米艦に分乗して台湾にやつてくる日で、これを伝え聞いた島民は歓迎出迎

に各地から沢山やつてきていた。

中国本土の王朝から長らく員数外に扱われ、近代に入つては日清戦争敗北の形に里子のよう日本に差し出される運命を背負わされた

台湾であったが、その島民にとつて本土から祖国の正規軍を迎えることは、やはり大きな喜びであり期待であった。そしてその歓喜は

基隆の朝もやの中に本土からの艦影が浮かび上がつてくるにつれて

一層高まつていった。

ところが接岸した艦からぞろぞろ降りてきた祖国の精銳を見た瞬

間、歓迎の数千の島民は思わず22年の二・二八事件にもつながつていつた。ここではこれには触れないが、経済的な面では、外省人

だと、判つてもらえば、満足であります。俳句は、四季の風物の

讃美である。人間生活の感動を歌い上げるものである。

士の姿を目にした時、それまでの歓迎の空気は一変した。これが軍隊かと思うと特に涙の出る思いだ

つたらしい。人々は思わず顔を見合せ無言のままに基隆の埠頭から散つていった。これが台湾の本省人が初めて国民党軍を見たときの印象であった。「良鉄は釘に打たず、良人は兵に当らず」と言われた中国で国民党軍に徴用された急造の国民党第70軍の兵士と、日本治下でそれなりにやつてきて敗戦日本の残した諸財を受け取つて将来に期待を託す島民とでは、旨く行くはずはなかつた。これは各階層ごとにみても同じであった。

その当時台湾島民の間では、「犬去つて豚きたる。犬はなお恩を知るも豚は貪なるのみ」とさかんにいわれるようになつた。

水道の蛇口

また一方でこう言う話もある

た。蔣介石と一緒にきた兵隊さん

の殆どは農村の人あるいは都会の

無賴であつたようであるが、台湾にきてからは見るもの聞くもの全

てが珍しく、貧しいながらも結構

楽しい兵士生活を送っていたらし

い。

そのようなある日、台北で水道器具の小売りをやつていたその店の親父は、二人連れの国民党の制服を着た兵士に怒鳴り込まれた。

びっくり驚いて腰を屈めながら尋ねると、二人は水道の蛇口を手にして言った。「お前は我々を瞞す

氣か。昨日ここでこの蛇口を買って
帰つて家の壁に取りつけたのに、
蛇口をひねつても一向に水が出ない
じやないか！」とえらい剣幕で
ある。おかしさを堪えながらも親
父は、万一を考えて恐る恐る委細
を説明してお引き取り願つたそう
である。

腰の
事

と言つた話であるが、戦後の台北を案内して呉れた友人は、外省人のことをひどく悪く言つて嘆いていた。「とにかく彼等には困る。何でも彼でも欲しがつて持つていつてしまふ」と言ひながら、車の中から道行く人を指差して「ほら、あれは外省人、これも外省人」と言つた。「君はどうしてすぐ判るのか」と聞くと「それは判りますよ。はら、鼻や口が豚のように飛び出しているでしよう」ときた。

今はもうこの様なことはなく、相互にすっかり融和した状態になつているが、ここまで感情的にこ

相互にすっかり融和した状態になつてゐるが、こうまで感情的にこじれで了つていた。

地獄で仏

さる年私は、かつてオランダの台湾侵略関連のことを調べるために、安平古城や赤嵌楼を尋ねて台南に向かつた。

その時のことである。台南空港から市内に向かうバスの中で、何やら日本からの客を迎えたらしい

日本語の良く判る人がいたので、台南の町に着いてから見学調査の足の便を尋ねた。すると親切にこの人、一緒にバスを降りた台南駅前で私のためにタクシーをつかまえ時間と料金までかけ合つてくれた。

私は厚くお礼を言つてこの方と別れ、まずは市内のかつてのオランダの本拠赤嵌樓を尋ねた。オランダは一六五〇年通商軍事の要衝台湾に目を付けて侵入し、当時は海岸であったここに赤嵌樓を築いて植民經營の本拠とした。赤嵌樓の規模は当時としても大きくなかったが、赤煉瓦の障壁、堡壘さらには後年補修した木造の本部建物が今も保存されていた。ここを見物した後安平古城、延平郡王祠その他台南郊外と市内を回つて台南駅に帰り着くまで、わが運転手は、子供の頃神戸に行つたこと、戦前の日本時代に高等小学を終えたことなどを喋り続け、お陰でいろいろ勉強になつた。

こうして半日以上彼に世話になつた私は、その日の夕方台南駅前で彼にわかれてから駅で高雄までの切符を買った。その時である。自分が妙に身軽なのに気が付き、その瞬間目の前が真っ暗になつて私は切符売り場の前に呆然と立ち尽くしてしまつた。旅券、航空券

入れておいた旅行鞄をくだんのタクシーの後部トランクに残したまま降りてしまつたのである。時刻はすでに夕方近く、折からの驟雨に外は真っ暗になりかけていた。やがて気を取り直した私は、誰に相談し助けを求めたものかと駅構内を見回すと、その一隅に軍の平站出張所の様なものが眼にはいつた。そこでまずは試しとそこに行つて、誰か日本語か英語の判る人はいないかと尋ねたが、20才前後のきちんと軍服を身につけた丘陵隊には全く通じない。困り抜いてふと駅前を見やると、そこにかなり大きなホテルがあつた。そうだがこれだと、かなりの雨の中をそこに飛び込んだ。

た。汗びつよりで雨に濡れ意氣消沈したわが姿は特に情け無いの一語に尽きるものであつたらしくが、泣きつく他はなかつた。

かくかくしかじかと事情を述べタクシーの番号を伝えると、警官は「車両番号が判つてもタクシー会社が判らないと難しい。ところでどんな運転手だったか」と言うと、答えに窮したが、私がふと「黄色の車でかなり日本語を話す運転手だつた」と呟くように言うと、警官は急に態度を変えて「なにつけてくるから、まあここに座つていいなさい」と受付氏の傍らの小さな椅子を薦め、扇風機を私の方に向けてくれた。

太鼓判を押されて私の安堵は一段と進んだが、よし出てくるにしても数時間はかかるだろうし、その晩は台南に泊まる覚悟をして私は受付氏の隣にちんまり座つて待つことにした。お巡りさんは早速車両番号を頼りに本部に手を回して調べてくれていたが、十分程度会社が判つた。それは驚くべきことであった。その第一は番号から会社が判つたこと、その二是電話がうまく会社に通じたことである。当然と思うかもしれないが、それがそうでないのがその頃の状態で

あつた。そしてタクシー会社から
の返事で「確かに我が社の車だが
まだ戻ってきてない。戻り次第
署に行かせる」とのことであつた。
そしてこの警察官は「松崎さん、
もう大丈夫、よかつたね」と言つ
て中に入つていつた。そうこうし
ている内に、先刻警察への道を教
えてくれたホテルのご婦人も私の
ことを気遣つてか警察にやつてきて
てくれた。有り難いことであつた。
30分ほども経つたであろうか、
件の婦人を含め数人の私の回りで
がやがや話していた人達が手を叩
いて歓声をあげた。何事かと立ち
上がり外をみると、何としたこ
とか、私の乗つたあの黄色のタク
シーが警察の前にびたりと止まり、
中から運転手が私の大事な大事な
鞄を持って飛び出してきたではない
か。運転手はにこにこしながら
「貴方が駅で降りた後しばらくし
て私も気が付いた。貴方は高雄に
行くと言つていたが名前もホテル
も聞いていなかつたので、どう仕
様もなかつた。ひと仕事して社に
戻ると、すぐ警察に行けと言われ
て急いでやつてきた。随分心配し
たでしよう」と言う。

したが、これがその頃の本省人の偽らざる気持ちであつたらしい。そしてこの警官は職掌上からか私は鞆の中身の点検を促した。しかし私にどうしてそんなことができようか。いや結構ですと有り難く鞆を頂き、運転手の陳源增君に若干のお札を差し出した。ところが陳君は回りを気にしてかどうしてもそれを受け取らない。

結局私は後日のお札を約し、警察局を後にして、陳君、ホテルのご婦人に厚く謝意を表し、皆の祝福を背に台南駅前警察署を後にした。

今や台湾も、人口はかつての四〇〇万人から二、五〇〇万人になり、外省人・本省人相互の婚姻も進み、経済も驚異的に発展している。大陸からきた人達も含め台湾在住の人々の幸いを願うのみである。

戦中派の学生生活(IV) (改題)

副会長 近藤文治(昭和18年卒)

(二) 大東亜戦争勃発

昭和16年12月8日、ラジオを流れる軍艦マーチによって夜が明けた。晴天の碧歴とはこのことだろうか。大本営発表「わが国は今

朝未明米英と戦争状態に突入せり」との発表が繰り返し放送される。統いて、ラジオにしがみつく我々の耳を打ったのは真珠湾奇襲攻撃の大戦果であった。大東亜戦争の幕が切って落とされたのである。

わが国には相当以前から大東亜共営圏の思想があつた。東南アジアに中国、香港、フィリピン、インドを加えた地域(極端に広く解釈する時はオーストラリヤをも含めた地域)を大東亜共営圏と呼び、この地域にあつて、欧米各国の植民地として搾取に苦しんでいた人民を開放し、楽土を建設すること、アシアの盟主であるわが國の使命であると言ふ思想である。

日支事変も今回の開戦も大東亜共営圏の理想を実現するための「聖戦」であると言うのである。

このような考え方の教育は可なり徹底して行われ、わが国の軍国主義的行動を美化し、国論の統一を図るために手段として利用されていた。特に大東亜戦争勃発後は「聖戦」遂行のバックボーンをなす思想として、大東亜共営圏の思想教育はあらゆる機会を捉えて行われた。

国民全般としては報道管制下の限られた情報の中には、そのような思想を狂信的に信奉しない

までも、敢えて反対する理由もないことを示していた私であった。

く、自然の流れに身を任せよう力的であった。

そんな訳で、戦時中、わが国では今度の大戦を「大東亜戦争」と呼んでいたが、敗戦後は、太平洋戦争あるいは第2次世界大戦と呼ぶようになった。

戦争勃発の時、私は京大の一回生であった。その年の4月に入学したばかりで、まだそれほど長い時間が経っていた訳ではなかつたが、多くの教授の先生方から、それぞれの専門分野における欧米各

国とわが国との技術格差について話を伺つていた。それによると、わが国の技術レベルは、平均して約10年遅れていると言わざるを得ないと言つた。また、われわれ自身が新聞その他を通して見聞した事実に、ソ満国境で発生した「ノモンハン事件」があつた。

月14日、私が大東亜戦争勃発当初からぼんやりと感じていた戦争の

未来に対する不安が、早くも現実となつた。兄の葬儀が行われた4

月14日、私が大東亜戦争勃発当初からぼんやりと感じていた戦争の

被害の程は記憶にない程軽微であった。兄の葬儀が行われた4月14日、私が大東亜戦争勃発当初からぼんやりと感じていた戦争の

被害の程は記憶にない程軽微であ

る。

さて、戦争が始まったからと言つて、差し当たつてどうすると言つてもなく、ただ緒戦の戦果の

である。ここに至つて前戦と銃

銃後との距離はなくなり、近代戦争

で、昭和16年は平稳裡に暮れていたのである。それは兄の死で

ある。

12月初旬、大阪で開催された学

会で風邪を引き、12月8日の開戦

のニュースを床の中で聞いた兄で

あつたが、誰も知らない間に死の

影が近づいていたのである。年が

明けて暫らくしてから、何度目か

のかつ血をして京大結核研究所に

入院、そのまま4月10日不帰の人

となつた。兄の葬儀が行われた4

月14日、私が大東亜戦争勃発当初からぼんやりと感じていた戦争の

被害の程は記憶にない程軽微であ

る。

さて、戦争が始まったからと言つて、差し当たつてどうすると言つてもなく、ただ緒戦の戦果の

である。ここに至つて前戦と銃

銃後との距離はなくなり、近代戦

で連戦連勝を誇ってきた日本であ

れたのである。

内地のことを銃後と称し、前

戦と区別してきたのである。そ

の後が、しかも首都が攻撃され

たのである。ここに至つて前戦と銃

銃後との距離はなくなり、近代戦

で、昭和16年は平稳裡に暮れていたのである。それは兄の死で

ある。

明治以後、常に海外を戦場とし

て連戦連勝を誇ってきた日本であ

れたのである。

さて、戦争が始まったからと言つて、差し当たつてどうすると言つてもなく、ただ緒戦の戦果の

である。ここに至つて前戦と銃

銃後との距離はなくなり、近代戦

で連戦連勝を誇ってきた日本であ

れたのである。

さて、

水を京都伏見まで引き淀川で大阪につなぐ大工木工事が成功し、同時に電気が出現した明治20年から明治40年の時期をあげることが出来ると思います。

先ず平安新京から見てみたいと思います。

古代政治経済の中心であつたわけですが、六四五五年(大化元年)に孝徳天皇が大掛かりな都市計画を立て難波宮を造るまでは都市というイメージは殆ど無く、単に政治の中心で官人が住んでいただけの場所がありました。従つて七世紀前半以前の都は、天皇の代が変わると他所に移るといった流動的なもので、言い伝えはあつても現在のどの場所にあたるか特定されたものは殆どありません。難波の宮は現在発掘調査が行われており、多分、条坊制に基づいて建設されたものの様ですが、市民の生活の場として形成されてくるのは藤原京以降の事であります。

定住の都として建設されたにも拘わらず、藤原、平城、長岡、平安と、何故、度々場所が変わったのかという事について、私は、水の問題が大きくかかわっている様に思うのであります。当時朝廷は

遣唐使を盛んに派遣して、先進国「唐」の文化を吸収するのに一生懸命でした。平城京は、明らかに

唐の都市計画を参考にして建設された都であります。しかし唐様式を忠実に模倣するだけの財力はありませんでした。都の中を佐保川、秋篠川というような川は流れていますが、いずれも小さな川で、

平城京は水の少ない都でした。私どもは、歴史の上で、奈良の都が長岡京へ移ったのは、弓削の道鏡という僧侶が政治に介入する様になつて混乱した人心を、一新するためにはやつたという様に教わったわけですが、それ以上に重要な物理的要因、即ち都市公害の問題があつた様に思うわけです。奈良の都では巨大な大仏が造られましたが、春日山の下に造つた巨大な炉からは、必要な銅の他に大量の鉛が流れ出ました。東大寺の一角には俗称白蛇川といふのがあります、白い鉛が何時も流れているので人々がそう呼んだと言われております。この他にも人々が生活する以上、色々な汚物が出るわけで、それを浄化するには大量の水が必要ですが、奈良の都は余りにも水が少なすぎた。そのため都市公害が蓄積され、都を棄てなければならぬ程になつたのではないか、という事が推察されるわけです。

古来、中国では都として最も理想的な地形は「四神相應」の地形、即ち北「玄武」には山を負い、東「青

龍」には大河を帯び、南「朱雀」には池沼を臨み、西「白虎」には大道を巡らす地形と言われております。水の少ない平城京に懲りた朝廷は、新都を建設するあたり「四神相応」の地、長岡を選びました。確かに長岡京は、北は丹波高原に接し、東には桂川が流れ、東南には今は全く干拓されて跡形もありませんが、巨椋池という大きな池があり、西は丹波路につながるまさに「四神相応」の地であります。ところが、この桂川の水が多すぎまして、当時の土木技術ではこの水を制御しきれませんでした。長岡京も亦、建設も完成しない僅か10年で平安新京に移りますが、歴史の上では建設工事の最高責任者、藤原種継が暗殺され、その犯人に連座して早良皇太子が幽閉され餓死した後、桓武天皇の周辺に不幸が相次ぎ、天皇が早良親王の怨霊に悩まされ続けた結果とされます。しかし長岡京が10年の間に7~8回、非常に大きな洪水に見舞われ、人々がこの儘で何時までたつても都は出来上がらないという認識を持つたという事も容易に想像できるわけで、これが遷都の一つの理由であつたと思ひます。

以上のような経験を踏まえ、しそつちゅう洪水に悩まされる程水が多くても困るし、少なすぎて廃

棄物が処理出来ない様でも困る。平安新京建設の成否は、鴨川の水をコントロールできるかどうかにかかっていたと見るわけです。地図を御覧頂くと良く判りますが鴨川の出町から南は余りにも真直

ぐで人工の産物としか思えません。当時、鴨川は山から現在の堀川筋辺りを南下していく、高野川は北東から南西へ今の京都市を斜めに横切り、堀川六角辺りで合流していました。この鴨川を上賀茂の所で東に曲げ、高野川と出町で合流させて、東山の山麓に沿つて一直線に南下させることにより造り広げた空間のド真中、今の千本丸太町から西北つまり二条城の北側に内裏を置く新都プランを考えたと言われておりました。

多分嵯峨天皇のハイカラ趣味によるものと思えます。ところが、右京は左京程治水が上手く行かず、地勢が低い事もあって割合早く衰微し、人口もどんどん左京の方へ移つて洛陽城の方だけが残る事になります。元々平安京は長安の都を手本にして造られたものであるにも拘らず、洛が京都の代名詞に使われ、洛中、洛外、或は上洛と言われるのは、洛陽城の名残りに外なりません。

さて、鴨川に話を戻しますと、先に申し上げました様に「平安新京建設時に鴨川は上賀茂の所で東に折り曲げ、高野川は出町の所で断ち切り合流させて一直線に南下させる大工事をやった」というのが通説になつておりますが、最近どうはなかつたのではないかと言う説が出て参りました。それは「当時の人々が自然に真に向から挑戦する様な考え方を持つていただろうか、もつと自然を出来るだけ活かす方向で技術を駆使したと考えた方がそれ以前の技術の使い方から見て妥当なのではないか」という疑問であります。川筋を全部つけかえたという様な大そられた事ではなく、元々の形を活かしながら部分的に都合の良い方向

それにもう一つ、当時それだけの大工事をやるだけの労働力を集める事が可能かどうかという問題もあります。奈良から平安初期へかけての日本全国の人口は600万人前後、その内都市人口は約10万人、それを治めた貴族の数は100人位です。平安京以前の都市建設では貴族が一方的に労働力を各地から徴発し、法律で無償労働を強要したわけです。当然の事ながら狩り出された人々は隙を見ては逃げ出しますから、予定通り造営工事が出来た例がありませんでした。そこで平安京の場合は始めて雇役、つまり賃金を支払って人を雇い入れたわけです。それに地元の有力者の動員力と財力を大いに活用する政策をとり、有力者の思惑とも合致して、今日で言う民間活力の成果が上がったと言われております。

具体的には秦氏の協力であります。

今の太秦から伏見迄大きな勢力を

持ち、土木、機織、金属技術等、

色々な技術を集約的に身につけた

一族の力をかりて、その御陰で新都建設が可能になつたと言われて

おります。それにしても当時の秦

氏の財力とパワーで、一つの河川

を全く新しくつけ変える事が出来

たかどうか、今後の研究を待たねばなりません。又、最近地質学が

非常に進歩し、地質の分析、計測、

年代推定に新技术が採用されて参

つておりますので、何れどちらの論に軍配が上るか答えを楽しみにしています。(つづく)

回文—博多そして九州

馬場俊晃(昭和33年卒)

会社勤めを始めて以来、長崎が28年、神戸で5年半、そして今この福岡で、単身の6年目:早いもので足かけ40年になる。

現在の住まいは桶井川沿いの西

新:部屋の窓から福岡ドームが眺められる所で住みやすい街。

神戸の留守宅には月に1~2度のペースで『金帰日来』している

が片道約3時間ばかりの新幹線一人旅は全く怠屈しじく…。

博チヨン生活1年目の頃であつたか、ある日の新幹線車中、ほん

やりと眺めていた雑誌に長崎の魚料理が特集されており、昔を懐かしく憶い出していたところ、フツ

と次のような「回文川柳」が浮かんできた。

「長崎や 鰯味わい 焼き魚」

回文(PALINDROME)とは、例えれば、シンブンシ、タケヤガヤケタ、等の様に前から読んでも後ろから読んでも同じ発音となる句、節、文であり、恐らく誰でも子供

の頃に口にしたことのある言葉遊びではなかろうか? 旧くからある有名な回文には、

伊賀に紀伊 佐渡 加賀か土佐

毫岐に甲斐 長き夜の遠の寝ぶりの皆日覚

め 波乗り船の音の良きかな

(よい初夢を見るために枕の下に

入れた七福神の絵に添えてある有

名な回文短歌)

死なば名は 残ると親の強いて

いて 石の矢をとる 子のはな

ばなし

などがある。(但し、濁点の読み

方は大目に見ていただきたい)

外国でも

Madam I'm Adam. (奥様、私、

アダムです)

Live not on evil. (悪事はいけな

い)

なども含め、結構沢山あるようだ。

海苔のコマーシャルに「上から

読んでも○○○、下から読んでも

○○○」なる一文があるが、これ

は発音ではなく漢字としての「見る回文」と言ってよい。

以来、フト浮かんだ回文、それ

も川柳や短歌の形になつたものを

お読みます。それにしても当時の秦

氏の財力とパワーで、一つの河川

を全く新しくつけ変える事が出来

たかどうか、今後の研究を待たねばなりません。又、最近地質学が

非常に進歩し、地質の分析、計測、

年代推定に新技术が採用されて参

「回文」ではあるが、貯まつてきたものをここらでまとめてみようと思つた次第。但し、前もつて断つておきたいが、川柳の素養もない上、回文化するために読み方にかなりの無理をさせたものがある。

難しい理屈は抜きにして遊び心で気楽に読み流して頂く程度のものである。

「まずは一般的なもの

(1) 門の松 晴れ着を着れば 妻のどか

(2) 草萌えや 遠出のデート 八重も咲く

(3) 今逃げた 鶯 低う 竹に舞

(4) 和の芽見え 雅子・紀子様

(5) ドーダ 媛 筋肉 人気 レオタード

(6) 単身で 男 仕事を 天神だ

(7) 中洲にて 徹夜で飲つて テ

(8) 長い夜や グラス安らぐ 弥生かな

(9) 中洲橋 「待夢」に向いた師走かな

(10) 「妙」も良か 瞳み笑み積む佳代燃えた

(11) ホラ増えた 美絵子・花婿笑み「妙」 BRAVO!!

(12) 長崎や 鰯味わい 焼き魚

(13) 長崎が 素敵 好きです 牡蠣

(14) 好き! 買つて! いか

(15) 今朝買つて 鰯 河豚もいたいかに蟹貝 鯛も喰ふ 好すた

(「待夢」は、春吉橋にほど近い新橋ビル6階にあるスナック。気さくにママとその娘さんの「ひろみ嬢」が暖かく迎えてくれるので足が向き易い。)

(「妙」は西新のかわいらしさスナックで、佳代はそのママ。本當は燃やせなかつたのだが、回文の都合上、燃えてもらつた。また、ママの妹さんが、睦(むつみ)さんと

言うことを後日知つた。)

(「妙」は西新のかわいらしさスナックで、佳代はそのママ。本當は燃やせなかつたのだが、回文の都合上、燃えてもらつた。また、ママの妹さんが、睦(むつみ)さんと

言うことを後日知つた。)

(その一人息子、晃君が美絵子さんといふお嫁さんをもらつた。娘が一人増えた…と『妙』のママは

大喜びだつた。)

(11) ホラ増えた 美絵子・花婿笑み「妙」 BRAVO!!

(12) 長崎や 鰯味わい 焼き魚

(13) 長崎が 素敵 好きです 牡蠣

(14) 好き! 買つて! いか

(15) 今朝買つて 鰯 河豚もいたいかに蟹貝 鯛も喰ふ 好すた

(「待夢」は、春吉橋にほど近い新橋ビル6階にあるスナック。気さくにママとその娘さんの「ひろみ嬢」が暖かく迎えてくれるので足が向き易い。)

(「妙」は西新のかわいらしさスナックで、佳代はそのママ。本當は燃やせなかつたのだが、回文の都合上、燃えてもらつた。また、ママの妹さんが、睦(むつみ)さんと

言うことを後日知つた。)

(その一人息子、晃君が美絵子さんといふお嫁さんをもらつた。娘が一人増えた…と『妙』のママは

大喜びだつた。)

(11) ホラ増えた 美絵子・花婿笑み「妙」 BRAVO!!

(12) 長崎や 鰯味わい 焼き魚

(13) 長崎が 素敵 好きです 牡蠣

(14) 好き! 買つて! いか

(15) 今朝買つて 鰯 河豚もいたいかに蟹貝 鯛も喰ふ 好すた

(「待夢」は、春吉橋にほど近い新橋ビル6階にあるスナック。気さくにママとその娘さんの「ひろみ嬢」が暖かく迎えてくれるので足が向き易い。)

(「妙」は西新のかわいらしさスナックで、佳代はそのママ。本當は燃やせなかつたのだが、回文の都合上、燃えてもらつた。また、ママの妹さんが、睦(むつみ)さんと

言うことを後日知つた。)

(その一人息子、晃君が美絵子さんといふお嫁さんをもらつた。娘が一人増えた…と『妙』のママは

大喜びだつた。)

(11) ホラ増えた 美絵子・花婿笑み「妙」 BRAVO!!

(12) 長崎や 鰯味わい 焼き魚

(13) 長崎が 素敵 好きです 牡蠣

(14) 好き! 買つて! いか

(15) 今朝買つて 鰯 河豚もいたいかに蟹貝 鯛も喰ふ 好すた

(「待夢」は、春吉橋にほど近い新橋ビル6階にあるスナック。気さくにママとその娘さんの「ひろみ嬢」が暖かく迎えてくれるので足が向き易い。)

(「妙」は西新のかわいらしさスナックで、佳代はそのママ。本當は燃やせなかつたのだが、回文の都合上、燃えてもらつた。また、ママの妹さんが、睦(むつみ)さんと

言うことを後日知つた。)

(その一人息子、晃君が美絵子さんといふお嫁さんをもらつた。娘が一人増えた…と『妙』のママは

大喜びだつた。)

(16) 鉄火・鮭 玄海だ 貝に雲丹 いか 鯛	(17) 鷹は舞い ドームのムード 今 博多	(18) 「鷹」は「王」ホラ! V! プラボー! おお! 博多	軍団・ダイエーに王監督が誕生。 3年目の今年は有望な新人入団し、 Vを狙う。
(19) 酒、酒や! だめだ V だ めだ やけ酒さ	福岡の活性化のために、ダイエー ホークスが過去2シーズンの ように最下位になつて	(20) 「玄海」だ 「古賀」・「鷹羽」。 「夜須」・「伊都」や「芥屋」。 訪いすや 「博多」が子 大歓迎	□、平成7年 パ・リーグの若鷹 軍団・ダイエーに王監督が誕生。

(21) ゴルフの和 伸ぶる娘	交流はその方向を毎秒数十回も 変える。モーターは発電機にもなる し、またその逆も可能、回転方 向にしても、ちょっととした操作で 暖かな日でしたが、秋の観光シー	「回文的」川柳・短歌・文章とな れは逆に頭の体操には持つて来い と言えよう。	右回り／左回り自由自在。電気の 制御性と言うか可逆性と言うか、 とにかく操作性の良さ・柔軟性は 素晴らしい。一方、可逆性のある 「回文的」川柳・短歌・文章とな れは逆に頭の体操には持つて来い と言えよう。
--------------------	---	--	--

(22) ゴルフの和 伸ぶる娘	なんてことにならぬよう、皆で 応援したいもの…。	(23) のVは発音せず、目でその対 称性をご覧いただく。	遊び心を満たす、お金のかからぬ 暇つぶしに、どうぞ…。
(24) ゴルフの和 伸ぶる娘	(後記)	(25) ゴルフの和 伸ぶる娘	「何事も、前後の見境い」はキツ チリとさせるのが肝要です。」

(26) ゴルフの和 伸ぶる娘	平成8年度の東京支部旅行会は 前日に集合し、市内の社寺見学と精 進料理のコースで、楽しい半日を 過ごすことができました。	平成8年11月10日(日)にJR鎌倉駅 前に集合し、市内の社寺見学と精 進料理のコースで、楽しい半日を 過ごすことができました。	東京支部旅行会の報告
(27) ゴルフの和 伸ぶる娘	(後記)	(28) ゴルフの和 伸ぶる娘	東京支部見学会の報告

(29) ゴルフの和 伸ぶる娘	午後は、長谷観音と鎌倉大仏を 見学する予定でしたが、少しお疲 れた静かで落ちついた環境にありま す。最初に敷地内の森や庭園を散 策しましたが、池には白鳥もあり、 研究者のリフレッシュには最適で す。次に撮影したビデオ画面の編 集を容易にするソフトのデモを見 ました。シーンの変わり目毎の マーキング、人物別の検索等によ り、必要な部分の編集がパソコン で簡単にできるのです。その他 MRによる脳機能部位の解析、 手話と口話の相互翻訳システム、 ヒトのDNA高速解析、ソーラー	午後は、長谷観音と鎌倉大仏を 見学する予定でしたが、少しお疲 れた静かで落ちついた環境にありま す。最初に敷地内の森や庭園を散 策しましたが、池には白鳥もあり、 研究者のリフレッシュには最適で す。次に撮影したビデオ画面の編 集を容易にするソフトのデモを見 ました。シーンの変わり目毎の マーキング、人物別の検索等によ り、必要な部分の編集がパソコン で簡単にできるのです。その他 MRによる脳機能部位の解析、 手話と口話の相互翻訳システム、 ヒトのDNA高速解析、ソーラー	平成9年1月20日(月)に、約70 名の会員の参加を得て、見学会を 実施しました。東京支部の萱島支 部長に紹介していただき、今回は (株)日立制作所中央研究所を見学さ せていただきました。昼食をいた だいた後、研究所の概要について 中村所長の説明を聴きました。そ の後、6つの班に分かれ研究所内 を見学しました。
(30) ゴルフの和 伸ぶる娘	(後記)	(31) ゴルフの和 伸ぶる娘	中央研究所は武藏野は国分寺の 駅のすぐ近くにあり、森に囲まれ た静かで落ちついた環境にあります。 最初に敷地内の森や庭園を散 策しましたが、池には白鳥もあり、 研究者のリフレッシュには最適で す。次に撮影したビデオ画面の編 集を容易にするソフトのデモを見 ました。シーンの変わり目毎の マーキング、人物別の検索等によ り、必要な部分の編集がパソコン で簡単にできるのです。その他 MRによる脳機能部位の解析、 手話と口話の相互翻訳システム、 ヒトのDNA高速解析、ソーラー

創部50周年を2年連続6度目の学生日本一で飾った。

なお、本年1月3日(金)、東京ドームで行なわれた日本選手権では、社会人リーグの覇者に惜しくも敗れ、2年連続5度目の日本一制覇はならなかつた。(京大広報より)

事務局だより

平成9年度洛友会本部総会は5月31日(土)東京目黒の八芳園で東京支部と合同で開催されます。

(詳細は別掲載記事ご参照)

会員の皆様方のご出席をお待ち申しあげます。

また、各支部の総会日程は次のように予定されております。

5月16日(金)中国支部総会

5月23日(金)九州支部総会

5月31日(土)東京支部総会

6月6日(金)四国支部総会

6月14日(土)関西支部総会

6月21日(土)中部支部総会

なお、開催場所、時間など詳細については各支部からご案内がりますので、ぜひご出席賜りますようお願い申しあげます。

◎広告掲載のお願い

本年11月下旬に発行される平成10年度版新名簿には例年のように会員企業の広告を掲載いたします。各支部役員を通じて依頼されます

京都大学では3月24日(月)には修士、25日(火)には学部の卒業式がおこなわれました。工学部電気系では、修士99名、学部155名が卒業されました。心からお祝い申しあげます。

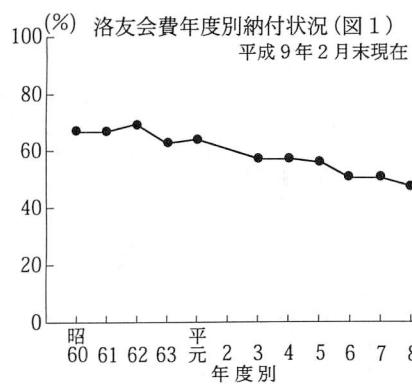
ので各社とも従前どおりお申込みをお願い申し上げます。

卒業年次別

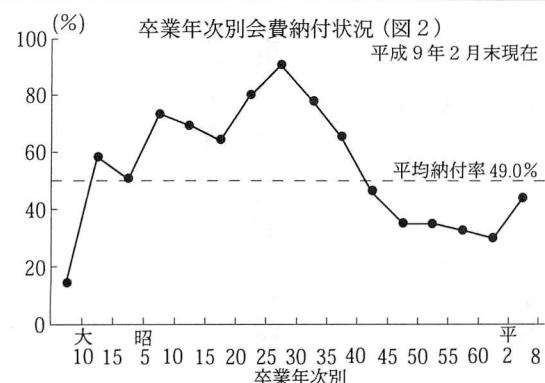
会費納付状況について

会員の皆様のご協力により、平成8年度の会計事務も完了いたしました。

平成8年度の会費納付対象者は5986名(平成8年卒業生まで)で会費納付者(B)は2934名で納付率(B/A)は49.0%と平成5年度以降、毎年低下し、低い水準で推移しております。図1、2参考下さい。



より正確な名簿を作成するため会員各位のご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



以上でもなく、洛友会活動は皆様のご協力の基に成立っております。この状況では本部・支部の活動に影響が心配されます。

		計 報											
講	大11	高崎	弘一	9	1								
講	大13	高田	豊	56	1	22							
講	大15	山中	作藏	8	12	30							
講	昭7	田中	遠一	9	1								
講	昭6	青柳	健次	8	1								
講	昭11	川西	武	8	11	19							
講	昭13	中沢	力	8	11	27							
講	昭15	西村	健治	9	1								
講	昭16	塚原	謙三	8	12	23							
井上	昭42	井上	武	8	5								
井上	昭42	敦之	9	3	1	4							

以上の方々がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

洛友会 新名簿発行について

編集後記

また、本号にも多くの会員の皆様よりご投稿いただき、予定どおり発行でき有難うございました。次回180号は7月に発行予定です。

9年11月下旬に発行されます。例年のことく、名簿送付対象者は平成8年度の会費納付者となっています。また、名簿発送を11月とする関係上、記載事項の訂正締切り期日は8月31日と致します。

会員各位には現在の名簿をチエックしていただき、変更事項のある方は期限までに名簿添付の基本調査票(葉書)、または電話にて事務局までご連絡下さい。特に勤務先所属部課名等が変わった方もお願いいたします。

本号の巻頭言には萱島東京支部見客で賑わい、花吹雪が随所で舞つて春は一気に新緑の季節へと移つてゆきます。京都でも、桜の名所は大勢の花見客で賑わい、花吹雪が随所で舞つて春は一気に新緑の季節へと移つてゆきます。

長様より頂戴し、有難うございました。エレクトロニクス技術の目覚ましい進歩が、私達の日常生活の中でもたらす知らずの内に、その恩恵を享受していることを再認識いたしました。

末筆ながら、本年ご卒業され新しい洛友会に入会された方々には心よりお祝い申し上げるとともに今後のご活躍をお祈り申し上げます。

(事務局 松本 博)

東京、四国支部の方々から寄せて頂ければ幸甚です。原稿の締切りは6月10日になつております。

会員皆様からのご投稿をお待ちしております。特に次回は、東北、